

— 令和7年度赤十字血液シンポジウム —

第36回北海道輸血シンポジウム

テーマ 「輸血医療の最前線：革新と実践」

開催日：2025年7月5日(土)

会場：日本赤十字社北海道ブロック血液センター3階研修室(Web併用)
(札幌市西区二十四軒2条1丁目1番20号)

-
- 9:00-9:05 **開会の挨拶** 鳥本 悦宏 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
- 9:05-10:10 **I これからのドナーリクルートと献血体制を考える**
司会：羽藤 高明 (愛媛県赤十字血液センター)
1. 医療機関でのスマート献血について
古川 祐輔 (北海道赤十字血液センター 献血推進課)
 2. 血液事業の健診体制における ICT の活用(認定インタビュアーと ICT)
加川 敬子 (血液事業本部 医務採血課)
 3. ドナーからみた日米の献血体制
佐藤 智彦 (東京慈恵会医科大学付属病院 輸血・輸血細胞治療部)
- 10:10-10:15 **休憩**
- 10:15-11:00 **トピックス①** 司会：鳥本 悦宏 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
ヒト血小板溶解液誘導抗原提示細胞を用いた個別化がんワクチンの開発
下平 滋隆 (金沢医科大学病院再生医療センター)
- 11:00-11:05 **休憩**
- 11:05-11:50 **トピックス②** 司会：生田 克哉 (北海道赤十字血液センター)
病原細菌感染症の重症化機構の解明
原 英樹 (旭川医科大学 感染症学講座 微生物学分野)
- 11:50-13:00 **昼食**
- 13:00-13:50 **日本輸血・細胞治療学会北海道支部特別講演**
司会：岡崎 仁 (日本赤十字社中央血液研究所)
有事における輸血医療について—海外における戦傷医療を考慮した検討—
宮田 茂樹 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)
- 13:50-14:00 **休憩**
- 14:00-14:40 **トピックス③** 司会：細野 晃 (大阪府赤十字血液センター)
周産期医療における輸血療法
長 和俊 (地域医療機能推進機構 JCHO 北海道病院)

14:40-15:20 II 赤十字血液センターの自己血協力と院内における自己血管理

司会：安村 敏（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

1. 血液センターにおける自己血輸血への技術協力について
内藤 祐（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）
2. 血液センター看護師による自己血採血への協力
渡邊 綾乃（北海道赤十字血液センター）
3. 自己血管理体制の構築
杉山 美穂（帯広協会病院）

15:20-15:30 休憩

15:30-16:45 III 今ここでブラッシュアップ輸血検査

司会：芦田 隆司（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）
北崎 英晃（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

1. 輸血のための検査マニュアル Ver1.4 改訂のポイント
井手 大輔（近畿大学病院 輸血・細胞治療センター）
2. ブラッシュアップ輸血検査1「高頻度抗原に対する抗体」
北村 優奈（市立釧路総合病院）
3. ブラッシュアップ輸血検査2「ABO 亜型」
中川 このみ（砂川市立病院）
4. 輸血関連情報（不規則抗体）カードの実態と問題点
土倉 和博（石狩病院）

16:45-16:50 閉会の挨拶 木下 透（北海道赤十字血液センター）

参加は無料です。参加される方は、以下の URL または QR コードから事前の参加申込をお願いします。

※定員になり次第、現地参加での受付を締め切らせていただきますのでご了承ください。

<https://forms.office.com/r/EbZpqDXCFS>

【受付期間】令和7年6月2日（月）～7月1日（火）17時



☆ 本シンポジウムは、以下の制度の単位が取得できます。

日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度
日本医師会認定生涯教育制度※
日本臨床検査技師会生涯教育研修制度

※ 本シンポジウムは北海道医師会の承認を得て、日本医師会生涯教育講座（4.5 単位）、カリキュラムコード：0（最新のトピックス・その他），7（医療の質と安全），9（医療情報），71（流・早産および満期産）として開催します。

生涯教育制度の取得単位登録には、氏名以外に「医籍登録番号」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。

◎各種単位の申請は、シンポジウム内で案内する[オンラインアンケート](#)から申請いただけます。

主催：日本赤十字社北海道ブロック血液センター、日本輸血・細胞治療学会北海道支部、北海道輸血医療研究会
後援：北海道、北海道臨床衛生検査技師会、札幌市医師会